

# JOSKAS - JOSSAM 2020

2020年12月17日(木)～19日(土) 演者: Dr.市村・鶴田・高島・(西村・池内)

今回は、第46回日本整形外科学会(JOSSM)学術集会と第12回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)の合同学会となりました。学会の国際化という方針のもと、多くの国際シンポジウムと国際パネルディスカッションが企画されていましたが、新型コロナウイルス感染症流行拡大のため、海外演者はWEBと動画のみ、国内演者は現地とWEBでのハイブリット開催となり、当院からは整形外科医市村、理学療法士鶴田、高島の3名が現地にて発表予定でした。しかし、コロナ禍の現状であるため開催地神戸まで足を運ぶことを自粛し、今回はWEB投稿という形で本学会に参加致しました。

## ～演題～

人工膝関節全置換術後のROM、10m歩行、TUGの短期成績  
-Vanguard PSとPSRPの比較-

Short-term Result of Range of motion, 10m walking test and  
Time up and go test after Total Knee Arthroplasty  
-Vanguard PS vs PSRP-

©高島 崇義<sup>1)</sup> 伯川広明<sup>2)</sup> 西村 勇輝<sup>2)</sup> 市村 竜治<sup>2)</sup>  
1. 南川整形外科病院 リハビリテーション部  
2. 南川整形外科病院 整形外科

外傷性・非外傷性腱板断裂における  
保存的治療の疼痛変化による影響

○鶴田 崇<sup>1)</sup>、山口 亮<sup>1)</sup>、坂井 涼平<sup>1)</sup>、緑川 孝二<sup>2)</sup>  
1) 南川整形外科病院 リハビリテーション部  
2) 南川整形外科病院 整形外科

人工膝関節全置換術後に生じた  
OXINIUM大腿骨コンポーネント破損の1症例

南川整形外科病院  
市村 竜治

人工膝関節全置換術後の深部静脈血栓症いつ発症し、どのくらいで消失するか？

(演者) 西村 勇輝

(共同演者) 市村竜治、池内亮、高島崇義、伯川広明、鶴田崇

高位脛骨骨切り術後における深部静脈血栓症の発症時期と消失時期

(演者) 池内 亮

(共同演者) 市村竜治、西村勇輝

今回、新たな形での学会参加だったため活発な質疑や他施設とのコミュニケーションができませんでした。しかし、学会や臨床に対するモチベーションを落とすことなく取り組んでいきたいと思っております。